

見学者への対応 入場料や駐車場代の金額設定を下げた欲しい 興味ある人を 誘い辛い
開催会場の貸切費用が高額過ぎて手軽な練習会に近いイベントが開催できないため入門者が育たない
JMRC 傘下の公式戦とは違い、気楽に楽しく参加できるのが良いですね。本来都県戦も気楽に参加できるはずなんですけど盛り上がりにかけますね。
上を目指せる環境が欲しい
とにかく初参加者が覚えやすいコース設定
パイロンコースの競技会は、コース発表を前日の夜にしてほしい。SGC 本庄サーキットの前日発表は、凄く良かった。
敷居が高い 初心者には入りづらい
個人的(静岡県民?)の勝手な希望ですが、静岡県内(静岡空港辺りの空地)に、東名・新東名・国1 からアクセスしやすい競技所が出来ることを切に願います。企業や県が10年くらいの期限付きでもいいので作って欲しいですね。
プロの競技では無いので、個人的には速さでスポンサーが付くこと自体にずっと違和感を感じておりますけれど、金銭的にきつい時は練習しない選択をする自分と違い、走っていないと死んでしまうくらいの方もいらっしゃいますし、それぞれのスタンスで個々が楽しく走れる事が まずもって望ましいです
サイドターンはジムカーナならではの魅力として残して欲しい。サイドターンがないコースなら沢山走れるサーキット走行の方が満足度高い
草イベントはハンデ方式など色々、競技自体を接戦になるように考えてイベント開催してくれ参加して楽しいが、県戦は上位イベントの規定に縛られて閑古鳥状態だし、C 地区だと CH 戦も上位イベントのように前日練習から走らないと勝負にならない状態なので、東京から離れた会場だと閑古鳥状態になる。もう少しワンデイイベントで且つ上位(全日本/地区)イベントの規定に縛られないようにならないか?と個人的には思う
主催関係者の方々には楽しい時間を提供していただき大変感謝しております。
間口を広める為に馬力やタイヤでのハンデ付きの競技会が増えてほしい
AT や EV、ノーサイドクラスの選択肢がある大会があることは、いい方針だと思います
走る場を提供下さる、想いのある主催者には本当に感謝しております。車と場所があれば楽しめるスポーツなので、生涯どのような形でもよいから楽しんでいきたいと思っています。
ガソリン車両と共に無くなりそうな気がします 競技人口が高齢化してゲートボール状態 サーキットでのスポーツ走行のハードルが下がってきた現在では、その魅力から無くなるのも無理ないかと
クラスごとに表彰をやらないので、走った後の拘束時間が長い
値段が高い。学生の身分では、毎回の参加は難しい。
SGS はなかなか良いイベントだ
ネットに情報が少なすぎると思う。
格好が良くて 且つ 戦闘力のある車が昔に比べて少ない。初心者にはチューニングしないと参加してはいけないように見えてしまう。(最初の車ではその理由で疲れてしまった) 改造が特殊なので迷いやすい、遠回りしやすい。(本質はドラテクということに気づくのが難しい)
OSL4輪ジムカーナ チャレンジングで楽しいです
家庭の事情で別に練習日を設けるのが難しいので、練習会とセットにしてほしい
車両規定の厳しく車両価格の高い PN クラスや、改造が何でもありの BC クラスが主流であり、大学自動車部員をはじめとした若者の参加が金銭的に厳しい。とくに今まで主流であった中古の DC2 等の競技車両も価格の高騰や劣化、部品調達の

難易度等により購入や維持が厳しくなっている。しかし依然としてこのような車両は第一線で戦っているため、他の学生や若者が買える安価な車両では太刀打ちができない。PN クラスの年式縛りのないバージョンや、さらに改造に制限をかけた入門クラスが jmrc や jaf のクラスにあってもいいのではないかと思う。

JAF 公認競技会(全日本、地方選手権問わず)で PN 以外でも TW280 タイヤを使用するクラスが切実にほしいです。ドライバーの技量を競うのがジムカーナと個人的に考えているので高コストなタイヤは不要と考えています。クラスが細分化するので SGS やその他ローカルイベントのように使用するタイヤのグリップカにに応じてハンディを設ければ良いかと考えています。

地味 たくさん走れない

公式戦を目指すほど本格的に取り組んではいけないが、少し競技をやってみたいという層が常連の参加者から疎まれている。主催者は「初心者歓迎」と銘打っていても肩身が狭い。

かつて走ってた復帰組が、参加しやすいと良いと思う。ジムカーナを続ける選手には当たり前の事でも、競技をメインにしていけない人には、改造範囲、タイヤ規則など難解。

観客不在、おもてなしの心が足りない。

オフィシャルが少ない

門扉を広くというが、所詮お金を持っている人しか出来ない。サーキットよりもというが、結果変わらない。

草ジムカーナだからこそのクラス区分、車種のレパートリー、悶絶と呼ばれる超テクニカルコースで、公認競技会にはない楽しさがある。初心者にはわかりやすく取っつきやすいと感じる。

東北地区と関東地区の非公式戦を中心に参加していますが、関東地区の非公式戦は参加台数が多く、かなり盛り上がっていると感じています。具体的な案があるわけではありませんが、公式戦・非公式戦を問わず、ジムカーナ全体の競技人口を増やすには、このような競技会に学ぶべきところがあると考えています。

若い人が少ないのが寂しいですね。型にはまらない競技会の在り方があればよいのかもしれませんが、初心者向けのドリフトイベントのマナーの悪さを見ると、やはり今のママが良いのかなあとも思います。取り留めなくてすみません。

過去地区戦走っていましたが、結局新しい車や新規タイヤが速いと言うこと。そもそも入門者やお金をかけなくてもできる PN クラスを設置した意味とはを参戦していた時期に考えてしまい、矛盾してきて参加をしなくなりました。草ジムカーナで、ある程度のレギュレーション、車が安くても古くてもいいので手軽に出場できる機会を増やすことが大事かと。

G6 の抽選会は要らない(なので毎回参加せず中座する)

25 年くらい前のようなヒエラルキーが無いと若手には敷居が高い。

子育て世代となり、資金的にもタイミング的にも参加するには厳しく遠ざかってしまった。ジムカーナはどの車種でも楽しめるのがコンセプトだが、それも楽しむには一定の車種とパーツが必要である程度の初期投資も必要。PN なんか新しい車種が出る度により速い車種に買い替えなんて無理。かと言ってネオクラシックになりかけているかつてのメジャー車種も維持は無理。結局、シリーズを追える選手層は古参か独身者か家庭放棄している人のイメージ。もちろん悪い人達ではないのは認識しています。本当にどの車種でも気軽に資金をかけずエンジョイ出来る機会が欲しいです。オートテストに行けと言われるかもしれないがジムカーナがしたい。

都心から遠い

車両、タイヤ代がかかり過ぎる

参加台数不足

沢山ありますが笑、勝負の結果だけは別にして笑、つまるところ「楽しかったな～」と思って帰途につけるのが一番重要なことだと思います。

戦闘力のある車両が限られてくるため、そのため専用車を買わなければならない現状は敷居が高い。

軽自動車を入れてほしい
若い競技者が特段に少ない
アナウンサーが欲しい(実況があると嬉しい)
地区戦とチャンピオン戦のギャップ(同じレギュレーションでの参加台数の差など)が、どこから来ているのかを、もっと分析したいですね。
PN 車両クラスは車を弄りたい人にとっては参加しにくい(戻したくない and 戻せない)。B 車両はレベル高い。という事で、なかなか参加したくても参加出来ない人も居るのではと思う。
草ジムカーナである、ビ筑やエンジョイは初心者でも参加しやすい、和気藹々とした雰囲気がとてもいい。あとはオートテストからのステップアップや、やってみたいけど一歩が踏み出せない人の後押しをどうにか工夫したいところ。
JAF の冠が足かせになってるように感じる事があります
昔(35 年前)に比べてショボい
オフィシャルの方いつも有り難うございます 自作データロガーとかテレメトリーをちまちま作っているの、使い勝手良くなればみなさんに作り方展開したいです
イベント感が少なく、ギャラリーが楽しめる催し(全日本みたく同乗や YouTube 中継、ケータリング等)があれば、友人知人や家族なんかが呼べたり、興味を持ったり知ってもらえるような取り組みをしていければ。コスト・人手が圧倒的に不足しているので難しいとは思いますが。JAF という巨大組織が後ろ盾があるので、自動車業界に関わらずスポンサー獲得活動が出来ないものか、ただ走って終わる競技会運営そのものの在り方を考えないと、地方以下は数年で無くなる気がしてます。(そのためのアンケートでしたね。)
女性参加者も増え、初心者が参加しやすいイベントが増えたものの、モータースポーツにおける世間の認知度が低いように思う。
若手が少ない。どうしてもコースを覚えることに対して敷居が高いのと、初心者向けの練習会が少ない、または表に出ていないような気がする。「競技」というイメージが強いように思える。
公認競技は結局お金持ちじゃないと戦うフィールドに立てないと思います
1990年代のイベントに比べて多種多様なクルマがいなくなり、一般の単なるクルマ好きには敷居が高くて参入しにくくなったのでは。自分としては、体力的に続けられる残り数年間だけジムカーナ競技が存続してくれば良いと思っています。
全日本で 2.0L 後輪駆動(前 JG6)が廃止になってしまったことで、モチベーションを大きく下げられた。
成立するクラスが少ない。クラスが多過ぎる。
興味のない人から見れば、歪なレギュレーションとそれに合わせた歪な車両で知れば知るほど排他的と感じる。
新規に参加する人が参加しやすい大会が出始めたと感じます。ただ自分で情報を取りにいかないといけない。
県戦であっても地区戦レベルの方々が居て全くもって参加する気にならない。クラスごとの参加台数が少なすぎて競い合いが成立しないのでつまらない。(勝てないとしても競う相手がいればモチベーションにもなりますが)
若い方が安心して走れる競技場の確保が重要な課題だと考えています。定年後に何かできないか考えています。
主催できる団体が少なくなったと思います。
参加者の高齢化
・趣味として参戦出来る規模では無い →限られた手持ちリソースで楽しめる競技会が存在しない ・入門者を誘導する練習会場、イベントが存在しない →個人開催練習会に頼るしか無い(会場は無い) ・岩手ではオートテストが盛んになり入門希望者が現れた→今年から始まった「協和カップ」がピンポイントで最適！だった

走行本数を3本とする。または練習走行1本+本番2本とする。ミスコースを誘発するような設定は止める。

自分の永年の愛車で子育てしながら参戦できる草レースが身の丈にあっており、草レース中心に細く永く続けたいと思います。

あるクラブに入っていたが、退会。退会理由は、ルールも何も無い開催をしているクラブのため。

JMRC シリーズにも参加したいが、ヘルメットとか規定が細かすぎる/B車でTW280クラス希望

モータースポーツ自体が高齢化してるのもっと若い人たち取り込んでいかないとモータースポーツが衰退してしまうので、若い世代を取り込む起爆剤があればイイのかなと思います。

参加する時は楽しみです。

G6がはじまった頃とタイヤの銘柄やノーマルタイヤの立ち位置も変わってきたので、規則やクラス分けも変更してもよいと考える。特にエントリー向けのイベントの立ち位置が、今後のJMRCのエントラント数にも影響するとも考えるので、ボトム層拡大の方向で考えても良いと思う。特に、ドリフトなど車両改造費が高額になり一般人が参加出来るモータースポーツはジムカーナくらいになってしまったと感じる。ドリフトなどからドロップしたモータースポーツエントラントを取り込むことも視野に入れても良い。また、ジムカーナ競技の認知を上げる試みも大切なので、既存の競技者ひとりひとりが、インフルエンサーとしての自覚をもとに認知拡大の試みをトライすべきとヒシヒシと感じる

全日本美川を見て思いましたがあまりにもグニャグニャして同じ所を何回も回るのは要らないと思います。一見覚えやすいシンプルなコースに見えてライン取り等でかなり悩まされる方がいいと思います。コース図は色分けして欲しいです。ジムカーナは覚えられん！という人も多く初心者等にも分かり易くする事で継続参加を狙う事が出来ると思います。

オフィシャルの確保を含めて人員確保が困難。魅力向上の改革が必要。

若者の参加が少ない、新しく始める人が入りにくい。

各県戦を廃止して、北関東シリーズ、南関東シリーズとイベント集約する案もあるかと思います

特に全日本では、土曜、日曜とほとんど似たようなコースを走るケースが多いですね。

JAF や JMRC のタイトルがないイベントは、北海道の場合ほぼ楽しいイベントになっています。